

ほっかいどうの社会保障

2009年5月22日

北海道社会保障推進協議会

3回目の「SOSネット」街頭相談会に50人が相談 家賃滞納で数日前から車中生活 手持ち金70円

5月19日、3回目の「SOSネットワーク北海道」の街頭相談会が札幌地下街のオーロラスクエアで行われました。

4月に失業した35才の女性が、家賃3か月滞納し退去通告を受け車中生活。ホームセンター駐車所に車を止め寝泊まりしているが仕事がないかと相談。一時避難所と生活保護をすすめ、自分で申請することになりました。

相談会には50人が訪れ、切実な相談が48件ありました

○労働問題 12 (賃金等6 雇用保険2 他4)

○生活問題 20 (生活保護4 生活資金4 住宅等4 他8)

○多重債務 2

○医療問題 13 (病気7 医療費5 介護1)

○住宅1 ○土地問題3 ○法律相談4 ○国保1

○交通事故1 ○貸付1 (以上複数相談有り)



愛知で派遣切り、3日間ネットカフェ生活

37才の男性。昨年豊平区で病気のため生活保護を受けていました。その後7月に派遣の仕事で愛知県に行きましたが、今年3月で解雇。雇用保険18万円出ましたが、住居費を払い、今年の3月にフェリーで友達のいる北海道に戻り札幌につきました。手持ち金が3万円しかなく、ネットカフェで過ごしていましたと、テレビで相談会を知って相談にきました。

派遣切りで住居がないことから、早速、市営住宅へ緊急入居の手続きを取り、厚別区役所に生活保護申請。

解雇され、どうしたらいいのか？

相談会が始まるとすぐに3人の女性が、大型パチンコ店の景品交換業務の会社が事業閉鎖になり退職金があるのかの相談。自分たちは会社も大変だろうと退職に応じました。労働組合を作った人たち約80人にはお金が支払われました。長く働いていましたので、組合に入らなくても退職金がもらえると思っていましたが出ませんでした。そのような人が20人ぐらい残っているとのことでした。退職金規程などの調査しながら会社に要求することや、具体的な取り組み方は地区労連やローカルユニオンで相談に応じることとしました。

細川道生連副会長談

精神疾患を抱える相談が増えている

総合受付を担当した細川副会長は「精神疾患を抱えているケースが目立ちました。仕事ができない、続けられないなど、大変な生活環境や労働環境で心身が触まれて、追いつめられているようです」と感想を語っています。

大学習会

「もうやめよう！障害者自立支援法」

日時：6月6日(土) 13:30~15:30

会場：札幌市身体障害者福祉センター

(西区24軒2条6丁目)

・地下鉄24軒駅下車)

講演：白沢 仁氏 (障全協事務局長)

主催：障道協 道社保協

シンポジウム

「考えよう！子どもの貧困」

日時：6月13日(土) 13:30~16:30 会費：500円

会場：札幌市社会福祉総合センター

(中央区大通西19丁目)

資料代：500円

コメンテーター：青木 紀氏 (北大教授)

主催：生存権裁判を支える会

道社保協・高教組・道教組

